

# 〔県民局だより〕

## 今年もやります！地域と畜産の”融合計画”

美作県民局 畜産第一班

岡山県北東部に広がる那岐山麓は、酪農や肉用牛などの畜産業が盛んな地域です。また、広大な農地を利用した水稻や黒豆栽培も盛んなことから、畜産業は古くから家畜ふん堆肥の流通を通して基幹産業である農業の発展に寄与してきました。

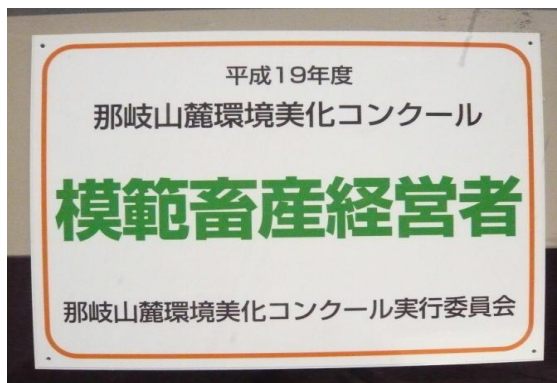
しかしながら、悪臭が発生する、害虫が発生するなどの理由から、全ての畜産施設が地域の理解を得られているとは言い難い現実があります。

そこで、美作県民局では昨年度、畜産業に対する地域住民の理解を深めてもらい、畜産業を真に地域にとけ込んだ産業するため、「那岐山麓ライブストックヒュージョン（地域と畜産の融合）計画」と銘打ち、畜産現場の環境美化や地域住民との交流を進めてきました。

### 1 融合計画【其の一】

#### ～畜産環境美化コンクール～

那岐山麓環境美化コンクール実行委員会を設置し、畜舎周辺の環境美化に努めている農家を選定しました。本年度は3戸選定し、環境美化に特に努めている証としてのプレート贈呈を行いました（図1）。



（図1 農家に贈呈されたプレート）

### 2 融合計画【其の二】

#### ～那岐山麓花いっぱい運動～

畜産農家の多い那岐山麓を花で飾ろうと、勝田郡老人クラブ連合会の協力の下、ミニひまわりの栽培を行いました（岡山畜産便り 2007.10月号に掲載）。

8月末に満開を迎えたミニひまわりは、勝英地域畜産共進会（平成19年8月26日開催）の会場を華やかにし、共進会終了後は、当共進会に出品した畜産農家の畜舎周辺を彩りました（図2）。

本年も、去る7月7日に勝田郡老人クラブ連合会総会へ出向き、ミニひまわり栽培について協力を求めたところ、快諾して頂きました（図3）。



（図2 共進会場を飾ったミニひまわり）



（図3 老人クラブ連合会総会にて協力を依頼）

### 3 融合計画【其の三】

#### ～牧場作業体験&ファームサイン作成～

12月、美作大学の学生17名が奈義町および美作市内の畜産農家において作業体験を行いました。

作業体験終了後、学生に作業体験を行った牧場のファームサイン（看板）のデザインをお願いしました。JAおよび美作県民局では、学生が作成したデザインをもとに打合せを重ね、学生と一緒にファームサインを作成（図4）しました。3月、作成し

たファームサイン3点は作業体験農家各戸に設置され、牧場のイメージアップに一役買っています。

### 4 おわりに

関係者の理解と団結により、今回の一連の活動は一定の成果を得たと考えています。

自給率向上、食の安全安心の確保など、国産食材に対する期待はますます高まる中で、地域と畜産現場との相互理解を深めるべく、本年も”融合計画”を進めていこうと思っています。



（図4 完成したファームサイン）

